



高木 武志
日本共産党
(72分)

子どもの貧困対策を

問

①市は3月に子どもの生活に関する実態調査の報告書を提出したが、今後の施策は。
②朝食を作ることが困難な家庭もあることから、学校で朝食を提供してはどうか。
③子どもの医療費助成制度の拡充により、医療費の心配をせず

答

①子どもの施策に関わる部局で子どもの貧困対策検討委員会を設置し、子どもの学び、生活・健康、就労・経済等の視点から施策の具体を検討している。
②施設管理等の課題があるため、困難である。
③子どもの医療費助成は、子育て支援、人口減少対策の側面もあり9月を目的に取りまとめる予定の人口減少対策の重要な柱の一つと考え、拡充に向けて具体の制度設計を検討している。

受診できることが必要では。



村井 明美
日本共産党
(73分)

密閉型原料処理システムの要望を

問

本市では長年、降下ばいじんに対する苦情が絶えない。製鉄所に対し世界水準の飛散防止対策を取り入れ密閉型の施設とするよう申し入れてはどうか。

答

粉じんの飛散防止対策など手法の選定については、事業者が



宮地 毅
新政クラブ
(70分)

若者の地元就職に向けた取り組みは

問

本市の産業の特色や地元企業の魅力などを若者に伝えることで、地元就職に対する意識が高まると考えるが、本市の取り組みは。

答

中学生などの早い段階から地元企業の特徴や魅力について



岡崎 正淳
無所属
(30分)

鞆の浦の日本遺産認定は

問

①地域活性化計画の概要は。
②地域活性化計画推進のための実施体制は。
③県の観光施策との連携は。

答

①観光振興と地域の活性化を目的に、地域の魅力等について調査を実施するとともに、情報



中学校での出前講座の様子

知りながら、地元就職への意識が高まるよう取り組む。

知ってもらうことは、地元への愛着が深まるものである。

今年度から小中学生を対象に、職業観の醸成や地元企業の認知度の向上を図るため、出前講座や企業見学バスツアーを実施している。引き続き、企業や学校と連携を

発信事業、人材育成事業、普及啓発事業等に取り組む。

②地域住民やまちづくり団体で構成する協議会を立ち上げ、文化庁派遣の日本遺産プロデューサーの助言を得ながら、情報発信、人材育成、観光事業化のための3つのワーキンググループを設置する。

事業の詳細やスケジュール等は地元の声を反映させて決定したい。③日本遺産サミットやツアーリズムエキスポジャパンなど、国や県、関係自治体と連携し、広域的な視点で観光施策を推進する。

*ツーリズムエキスポジャパン：世界中の観光関係者が集結する世界最大級の観光総合見本市。